

設問

[問い1] 新たな質問、視点

- 1) 今やめれば割増金ももらえることについて、もう先お伺いしてよろしいですか。
- 2) 早期退職を利用して、今退職する点について、どのように感じていますか。
- 3) やめようかどうしようか、決められず迷っていることについてはどう感じていますか。
- 4) 早期退職を利用して退職した後については、どのように考えていますか。
- 5) 早期退職の話は、いつどのように会社から話があったのでしょうか。
- 6) 54才の今、退職される点について、どのように感じていますか。

[問い2]

良かった点

事例IのCCt10 (相応しい・相応しくない)

理由: 冒頭で会社をやめようかどうしようか迷っているCLの話と丁寧な同僚から  
役定後の先輩を見てとまどうCLの気持ちと語っていたとき信頼関係が築け始めている。

悪かった点

事例IIのCCt10 (相応しい・相応しくない)

理由: 役定に対するCLの不安な気持ちや会社に対する不信感を中心に傾聴し  
たため、早期退職に対するCLの思いとあまり伺えず迷う気持ちを語っていただけなかった。

[問い3] あなたの考える相談者の問題

営業職で先輩をロールモデルとしてキャリアを築いてきたCLが、役定を1年後に控えた  
現在、別人のようになった先輩を見て怖くなり、役定後の自身の働き方に対して不安  
を感じ、とまどっている点。また、部長職にあこがれを感じて頑張ってきたにもかかわらず  
会社の役定制度には理解を深いつ、個人としては納得ができておらず、会社  
に対する不信感を感じたまま、早期退職を利用するが迷い、客観的かつ冷静な判断に欠ける。

[問い4] どのようなやりとりで面談を展開するか

営業職としてキャリアを積みながら勤めてきた今、役定を1年後に控えているCLを  
労いつつ面談を進め早期退職でなぜやめようと思ったのか、今やめることに対するCLの  
考えや思いについて問いかけていく。加えて早期退職後のセカンドキャリアについていつ  
ても話を伺う。そのうえで、役定を受け、今の会社で役職の無いCLが働くことについて、ま  
た会社から求められる役割について改めて考えていただく。最終的にはCLが主体的に、セカ  
ンドキャリアの納得できる働き方を選択し、しらしい働き方ができるよう支援させていただく。